

米生産者の皆さまへ

令和8年産米価は主食用米在庫量の増加により大幅下落が懸念されます！

令和8年産の主食用米の再生産価格を維持するため「生産目安」をふまえた生産をお願いします。

農水省が公表した主食用米の需給見通し

単位：万トン(玄米)

	公表時期	R 7.10.31	R8.3.23 (作付意向調査を ふまえた見通し)
令和8年6月末民間在庫量	A	215~229	221~234
令和8年産主食用米等生産量	B	711	719~732
令和8/9主食用米等供給量計	C=A+B	926~939	940~966
令和8/9主食用米等需要量	D	694~711	696~711
令和9年6月末民間在庫量	E=C-D	215~245	229~271

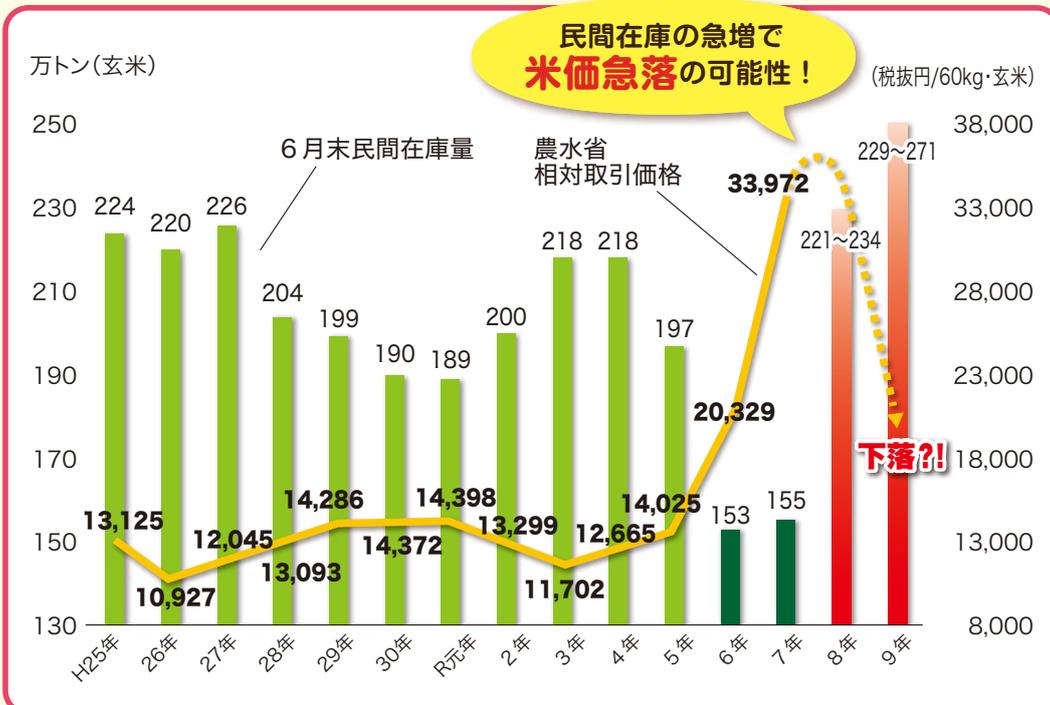
農水省は、本年3月23日に需給見通しを修正しました。

令和9年6月末の民間在庫量は適正水準を大幅に上回る見通しです。

適正在庫水準(180万~200万トン)を大幅に上回る見通し



在庫量と販売価格の推移



米の在庫量と価格は密接に関係していて、在庫が増えれば、米価は下がる傾向(相関関係)があります。

過去にも在庫量が220万トン水準になった平成26年産は、多くの産地銘柄で60kgあたり1万円を下回っています。

■本県の主食用米の生産目安と実生産量の推移

単位:トン(玄米)

年 産	本県産主食用米 生産目安 A	本県産主食用米 実生産量 B	生産目安対比 B/A
R 3	69,906	64,000	92%
R 4	68,088	62,200	91%
R 5	67,475	62,500	93%
R 6	67,475	64,000	95%
R 7	68,982	74,100	107%
R 8	71,717	?	

本県では、令和7年産主食用米の生産量が生産目安の設定を開始した平成30年以降初めて生産目安を上回りました。

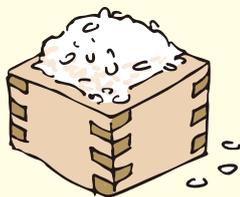
8年産米の生産量次第ではさらに在庫量が増加することが懸念されます。



R7年産主食用米実生産量74,100トンより低い目安で設定しています。

■主食用米の再生産価格を維持するため、麦・大豆・飼料作物等の水田活用の直接支払交付金対象作物の作付けをお願いします。

国の交付金活用により
主食用米暴落時のリスク回避にもなります。



米価下落のリスク回避および作期分散の観点から主食用米からの「作付転換」に取り組みましょう。
詳しくは、市町村農業再生協議会やJAにご相談ください。